

《 発表資料 》

2006年9月5日
日本経済新聞社

「アドバンテスト」の指数算出上の取扱いについて

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄である「アドバンテスト(6857)」が予定する株式分割(1株を2株)には、みなし額面の変更で対応することとします。

株式分割の権利落ち日である今月26日以降、アドバンテストのみなし額面を分割比率に合わせて現在の50円から、その2分の1である25円に変更します。(26日以降は、同銘柄の株価を2倍した値が指数算出に用いられることを意味します)

2005年6月7日付け公表の「大型の株式併合に対する措置」に準じた取り扱いであり、大幅な株式併合や株式分割に対しては、指数算出に用いる株価の水準がその前後で変わらないようにみなし額面の変更で調整するものです。したがって、この株式分割に伴う除数変更は発生しません。日経500種平均株価も同様に対応します。

なお、「ミレアホールディングス(8766)」が実施予定の株式分割(1株を500株)についても、すでに本年6月5日付け発表資料^(注)でご案内のとおり、10月2日から、みなし額面を50,000円から100円に変更することで対応します。

(注) <http://www.nikkei.co.jp/nkave/pdf/06060501.pdf>

以上